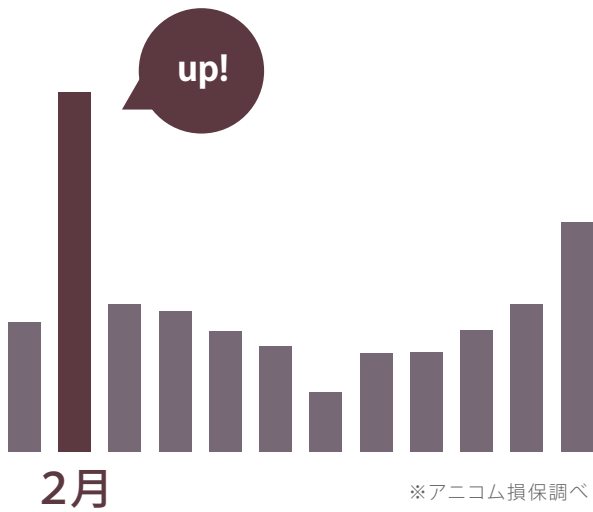


男性のみなさん
こうなってしまう前に
早く食べてください。



2月はチョコレート誤飲が急増!

2月には、チョコレートによる誤飲事故が急増します。「2月」と「チョコレート」のキーワードから見てくるのは、そう。バレンタインデーです。9割以上の方が、どうぶつにチョコレートをあげてはいけないという知識を持っていらっしゃると思いますが、誤飲事故は後を絶ちません。どうすれば、どうぶつのチョコレートの誤飲を防ぐことができるのでしょうか。

バレンタインデーにチョコレートをもらったら、どうぶつが決して届かない場所に保管しましょう。それでも探してしまおうって? では一番簡単な方法を。それは先に食べちゃうことです! モテモテのお父さんがチョコレートをたくさん抱えて帰ってきたら、早いところ食べてしまいましょう。でも、もちろん食べ過ぎには注意してくださいね。

チョコレート中毒とは。

チョコレートに含まれるテオブロミンが原因で発生します。心臓や中枢神経を刺激し、頻脈、血圧の上昇、興奮、けいれんなどの症状を引き起こし、時には死亡する場合があります。チョコレートの種類によって、このテオブロミンの含有量は異なりますが、一般的にカカオの含有量が多いものにたくさん含まれていると言われています。症状が出るかどうかの予測はできません。チョコレートの誤飲を見つけたらすぐに動物病院へ連れて行きましょう。

獣医師が良く聞く「ひとこと」

- ちよつと目を離したすきに 92.5%
- 「あっ」と思ったときには、もう遅くて 91.3%
- 危ないといつも気を付けていたのに 63.6%